

# オムロン 個人投資家様向け説明会



2017年 6月

オムロン株式会社

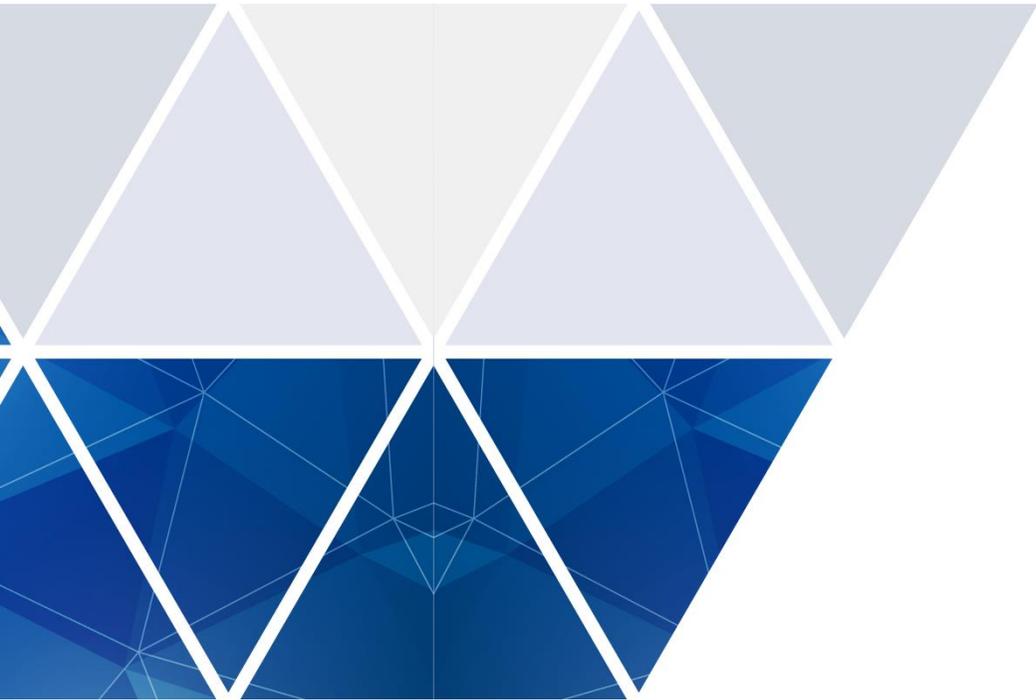
グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部

経営IR部

# 目次

---

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| <b>1. オムロンの概要</b>         | P. 2  |
| <hr/>                     |       |
| <b>2. 投資対象としてのオムロン</b>    | P. 16 |
| <hr/>                     |       |
| <b>3. 新中期経営計画 (VG2.0)</b> | P. 22 |
| <hr/>                     |       |
| <b>4. 株主還元</b>            | P. 27 |
| <hr/>                     |       |



# オムロンの概要

## オムロンの歴史

**1933年 立石電機製作所を創業（レントゲン写真撮影用タイマの製造を開始）**

1945年 京都市内、御室（おむろ）に工場を移転

1948年 立石電機株式会社を設立

1960年 世界初の無接点近接スイッチを開発

1967年 世界初の無人駅システムを開発

1988年 オランダに欧州地域統轄会社、シンガポールに  
アジア・パシフィック地域統轄会社を設立

1989年 アメリカに北米地域統轄会社を設立

**1990年 社名をオムロン株式会社に変更**

1994年 中国に地域統轄会社を設立

2007年 海外売上高比率50%を突破

2014年 売上高が過去最高の8,000億円を突破



（創業者 立石 一真）

## オムロンの会社概要

- ◆創業 1933年（昭和8年）5月10日
- ◆本社 京都市下京区塩小路通堀川東入
- ◆代表取締役社長 山田 義仁（やまだ よしひと）
- ◆連結売上高 7,942億円（2016年度）
- ◆連結従業員数 36,008人（国内11,414/海外24,594人）\*1
- ◆上場市場 東証1部（証券コード 6645）
- ◆単元株式数 100株
- ◆時価総額 約9,981億円（2017年4月28日終値、株価 4,665円）
- ◆配当利回り 1.46% \*2



（代表取締役社長 山田 義仁）

\*1:2017年3月末時点

\*2:2017年3月期配当予想(2017年4月27日発表)と  
2017年4月28日終値より算出

## 社憲と企業理念

## Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

## Our Values

私たちが大切にする価値観

## ・ソーシャルニーズの創造

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

## ・絶えざるチャレンジ

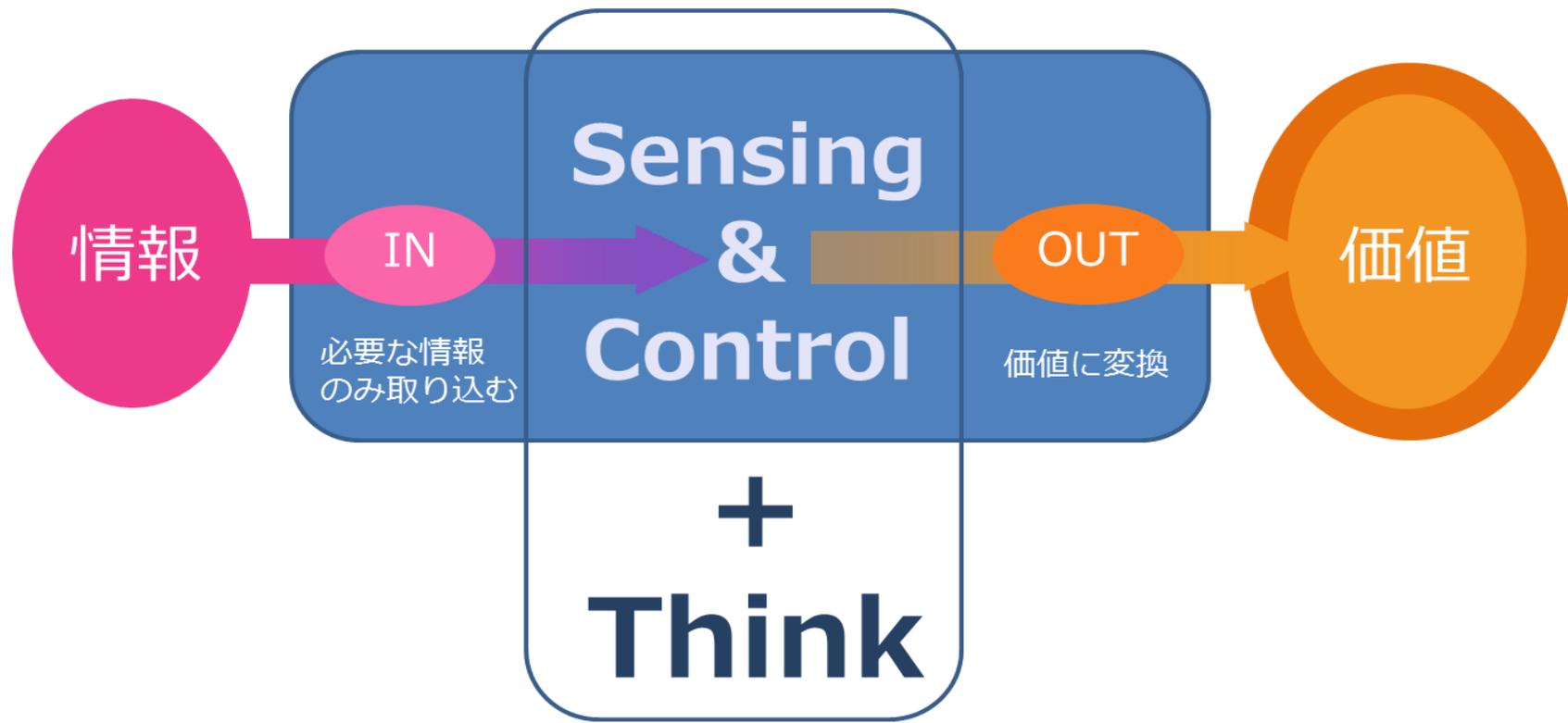
私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

## ・人間性の尊重

私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

## オムロンのコア技術「センシング&amp;コントロール+Think技術」

Sensing & Controlは、情報を価値に変換するオムロンのコア技術。  
これにThink(人の知見)をプラスし、新たな価値を創造する。



# 事業内容と売上構成

## 本社直轄（その他）事業

太陽光発電用パワーコンディショナ、液晶用バックライトなど



## ヘルスケア事業

世界中の人々の健康をサポート（電子血圧計、体温計など）

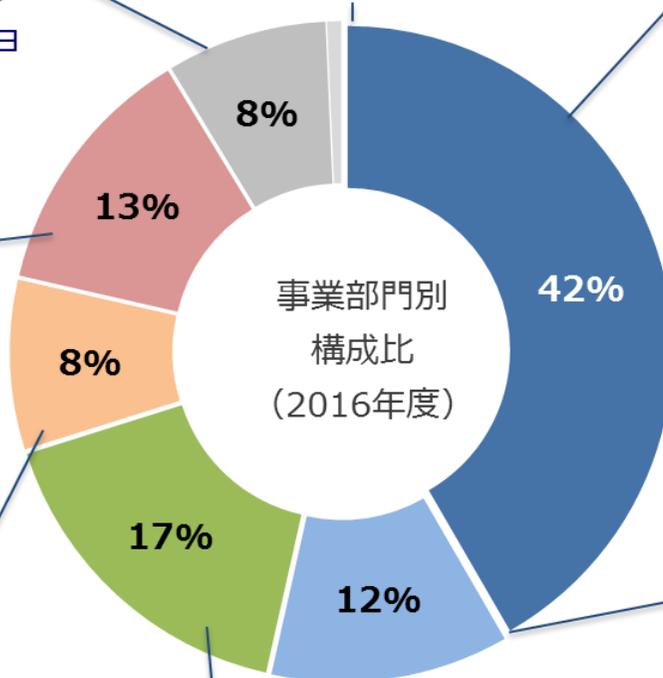


## 社会システム事業

社会インフラのための多彩なシステムで、快適で安全な社会生活に貢献（自動改札機・券売機など）



本社他（消去調整含む）  
1%



## 制御機器事業

工場自動化により、世界のものづくり革新をリードするオムロンの主力事業（センサ、コントロール機器など）



## 電子部品事業

家電、通信機器などの高性能化に貢献（リレー、スイッチなど）



## 車載事業

安全で、人と環境にやさしいクルマを目指し、カーエレクトロニクス  
の新たな領域にチャレンジ（電動パワーステアリングコントローラなど）



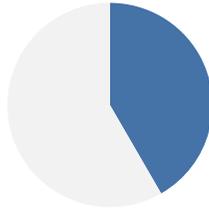
# 制御機器事業

## 工場自動化用、産業機器用の制御システム・機器の製造および販売

売上構成比

**42%**

\* 2016年度



制御機器  
国内市場シェア\*  
**42%**

工場自動化により、世界のものづくり革新を  
リードするオムロンの主力事業

### Input

画像センサ



ファイバーセンサ

### Logic



コントローラ



モーション  
コントローラ

### Output



サーボモータ・  
サーボドライバ



インバータ

ロボット



**Robot**



非常停止スイッチ



セーフティ  
ライトカーテン



セーフティ  
コントローラ

**Safety**

\*出所：NECA (日本電気制御機器工業会)統計

# 電子部品事業

## 家電、車載、モバイル、アミューズメント向け電子部品の製造および販売

売上構成比

**12%**

\* 2016年度



リレー  
世界市場シェア\*  
**20%**

家電、通信機器などの高性能化に貢献

### 家電・車載製品向け



### アミューズメント向け



\*出所：当社調べ

# 車載事業

## 自動車搭載用電子部品の製造および販売

売上構成比

**17%**

\* 2016年度



軽自動車向け  
ボディ制御ユニット  
国内市場シェア\*  
**50%**

安全で、人と環境にやさしいクルマを目指し、  
カーエレクトロニクスの新たな領域にチャレンジ

キーレスエントリーシステム



EPS

(電動パワーステアリングシステム)



パワーウィンドウスイッチ



エンジン始動システム



環境対応車向け商品  
(DC-DCコンバータ)



\*出所：当社調べ

## 社会システム事業

### 安心・安全で快適な社会の実現に向けたソリューション&サービスの提供

売上構成比

8%

\* 2016年度



駅務機器  
国内市場シェア\*  
45%

社会インフラのための多彩なシステムで、  
快適で安全な社会生活に貢献

#### 鉄道ソリューション

自動改札機



自動券売機



#### 道路ソリューション

道路交通管制システム



#### 環境ソリューション



太陽光発電の  
施工、メンテナンスなど

# ヘルスケア事業

## 家庭および医療機関向け健康医療機器・サービスの提供

売上構成比

**13%**

\* 2016年度



家庭用電子血圧計  
世界市場シェア\*

**50%**

世界中の人々の健康をサポート

ネブライザ



自動血圧計



低周波治療器



体重体組成計



活動量計



体温計



\*出所：当社調べ

## 本社直轄事業（その他事業）

売上構成比

**8%**

\* 2016年度



住宅向け  
パソコン  
国内市場シェア\*  
**40%**

新規事業として4つの事業を運営

### 環境事業



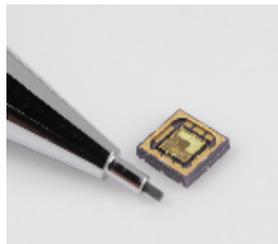
ソーラーパワーコンディショナ

### バックライト事業



スマートフォン用液晶バックライト

### マイクロデバイス事業



MEMS

### 電子機器事業



無停電電源装置  
(UPS)



組込み用小型PCボード

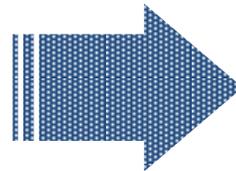
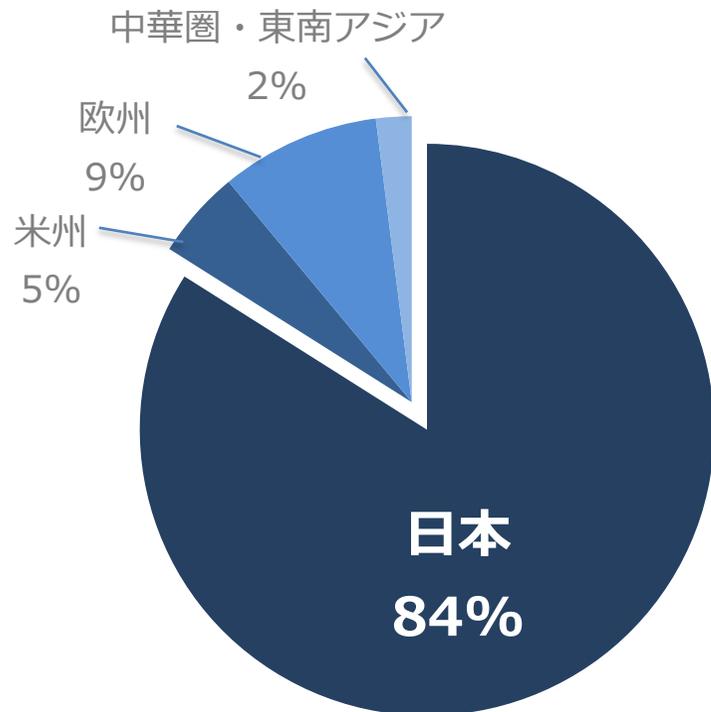
\*出所：当社調べ

## 地域別売上構成

### 1990年度

売上高：4,162億円

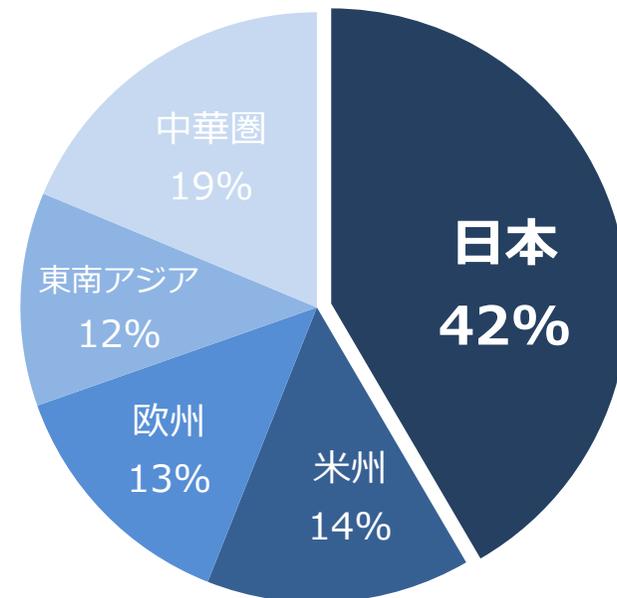
(海外比率：16%)



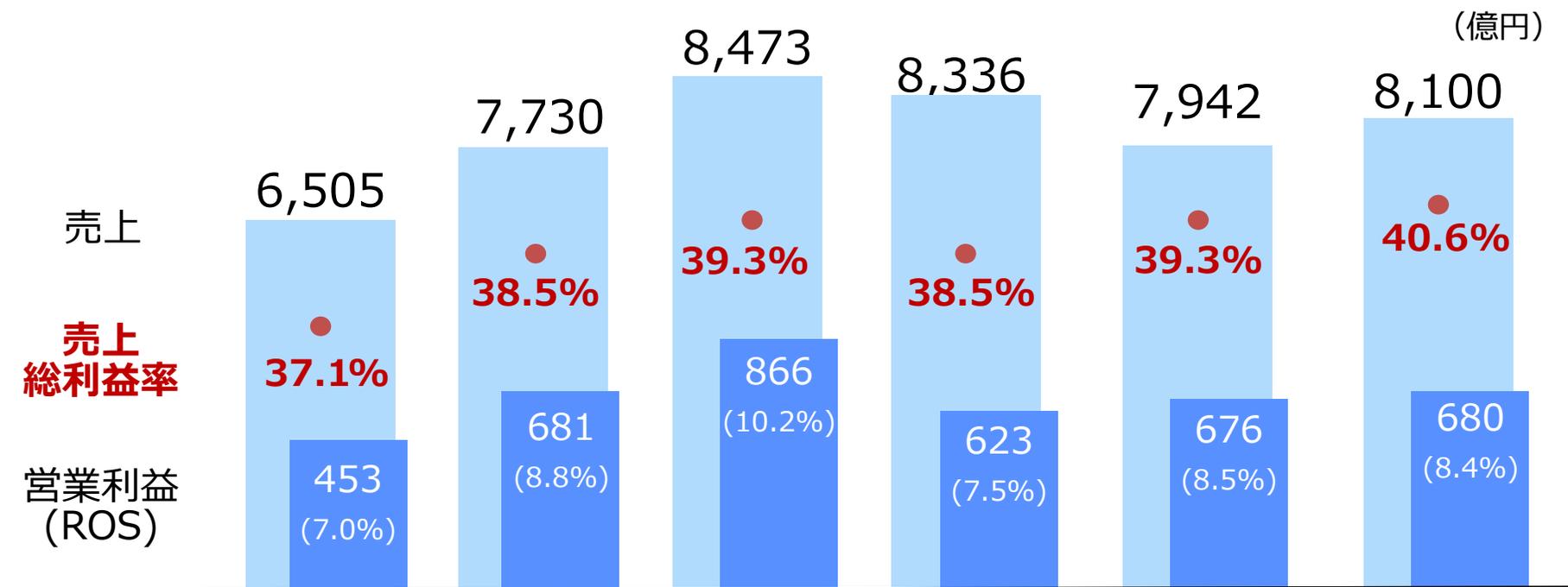
### 2016年度

売上高：7,942億円

(海外比率：58%)

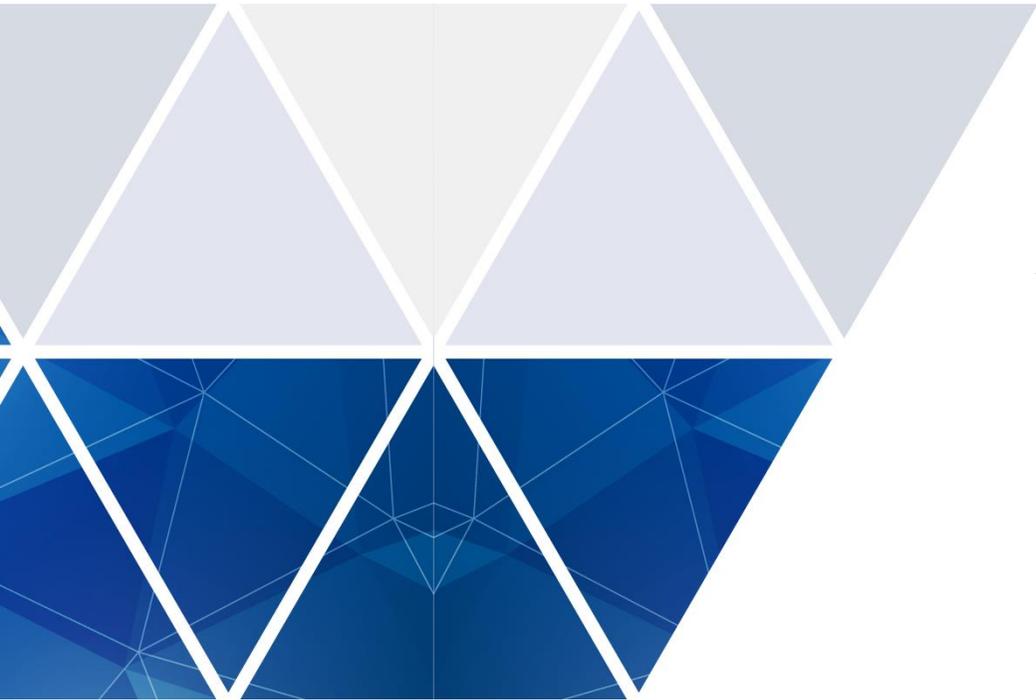


## 業績の推移



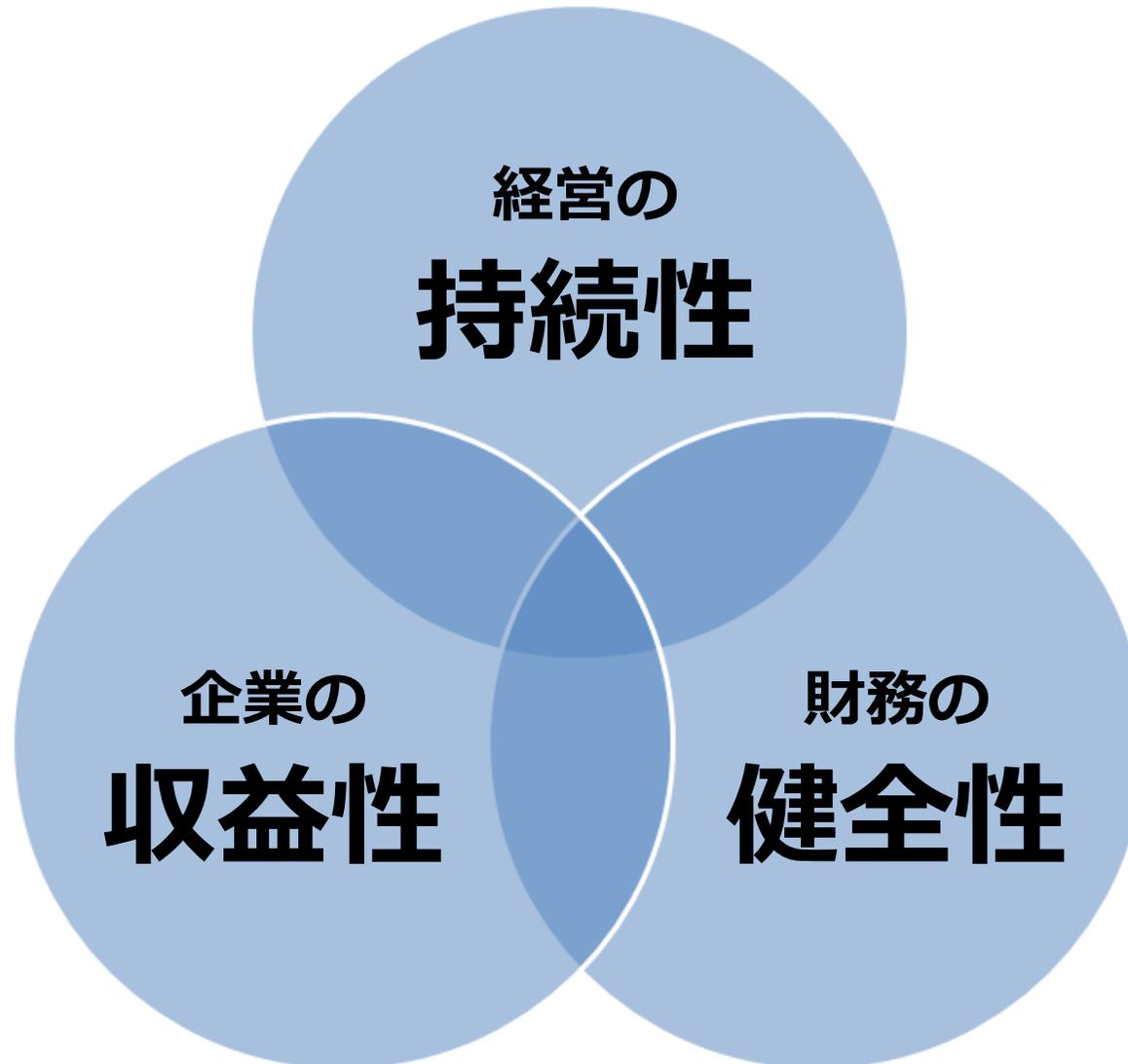
ROIC	8.6%	11.3%	13.4%	9.7%	10.3%	10%超	
ROE	8.8%	11.6%	13.5%	10.1%	10.1%	10%超	
EPS (円)	137.2	209.8	283.9	219.0	215.1	226.8	
為替実績	USD	83.2	100.1	110.0	120.2	108.9	110(前提)
	EUR	107.6	134.0	138.7	132.2	119.4	118(前提)

※ ROIC : 投下資本利益率、 ROE : 株主資本利益率、 EPS : 一株あたり利益



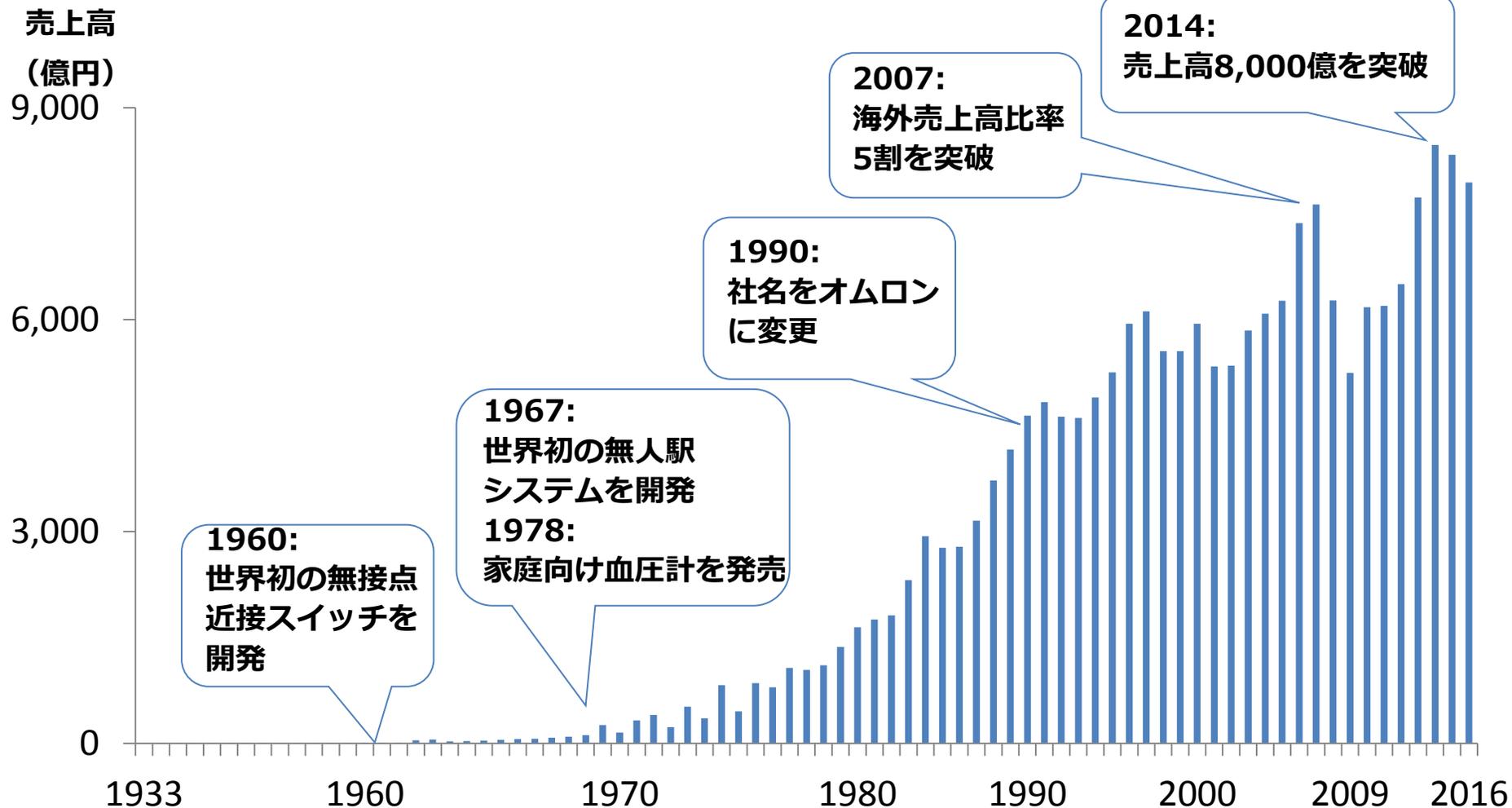
# 投資対象としての オムロン

## 3つのアピール



## 経営の持続性：オムロン84年の歴史

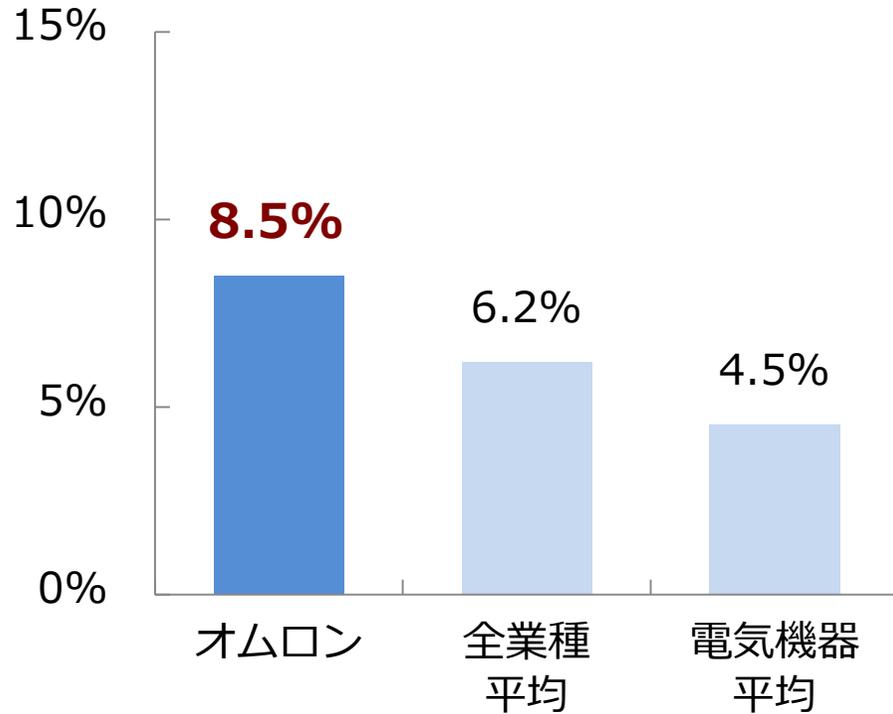
社会の持続的発展に、積極的かつ先駆的に寄与し着実に成長を遂げてきた



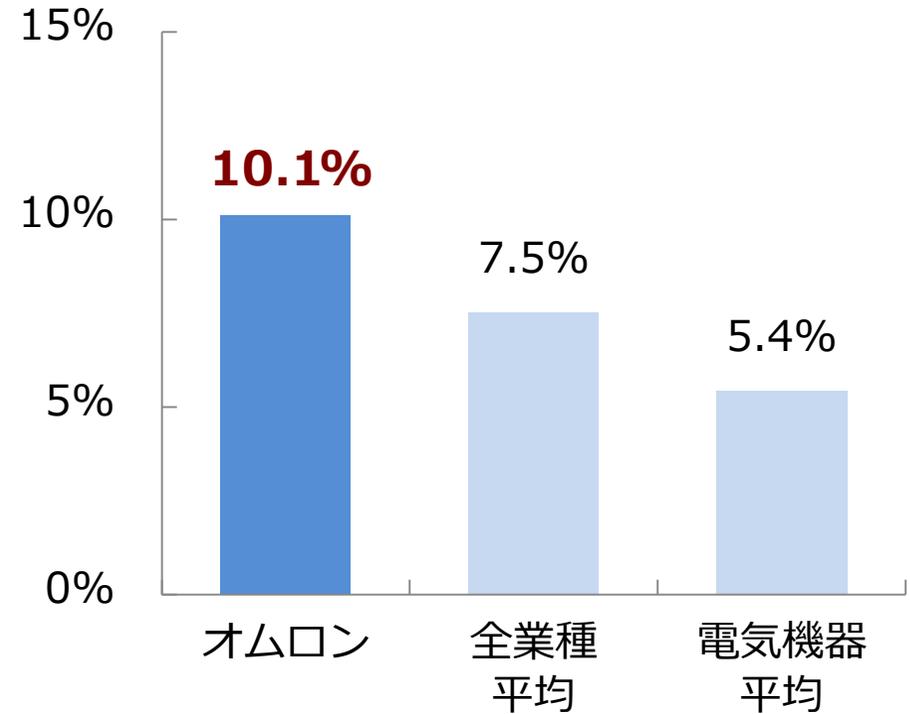
## 企業の収益性：営業利益率とROE

## 東証一部上場企業平均を上回る営業利益率とROE

## 営業利益率



(東証1部上場企業※)

ROE  
(株主資本利益率)

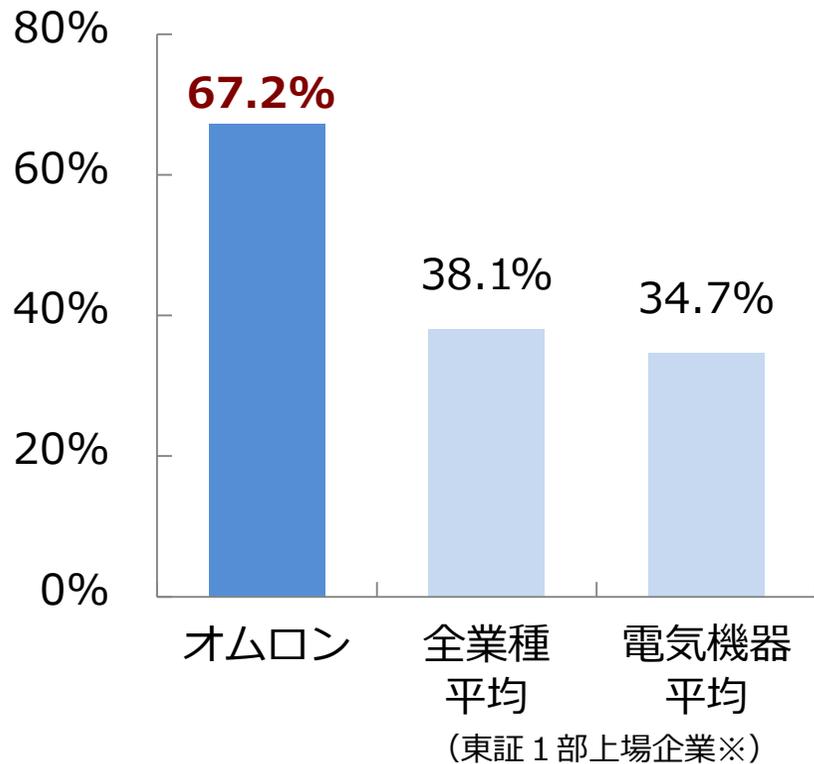
(東証1部上場企業※)

※2015年度実績

## 財務の健全性：自己資本比率と有利子負債

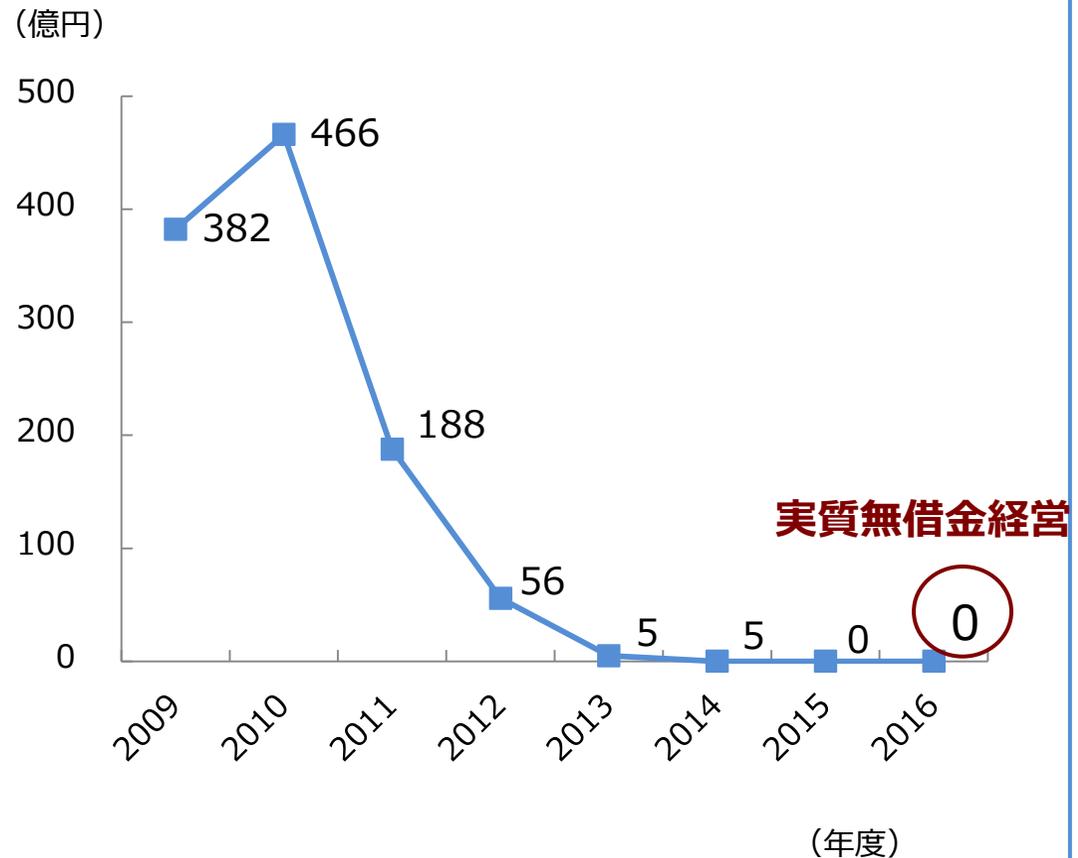
健全な財務体質で安全性が高い

### 自己資本比率



※2015年度実績

### 有利子負債の推移



財務の健全性：オムロンの格付機関からの評価

外部格付機関からの高い格付け評価

- ◆スタンダード&プアーズ(S&P)
- ◆格付投資情報センター(R&I)

長期格付

A

AA-

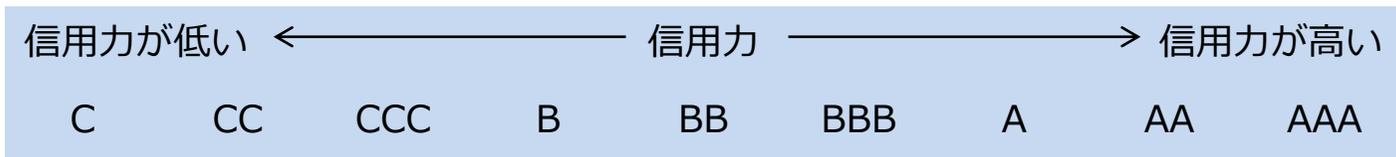
(参考) 短期格付

A-1

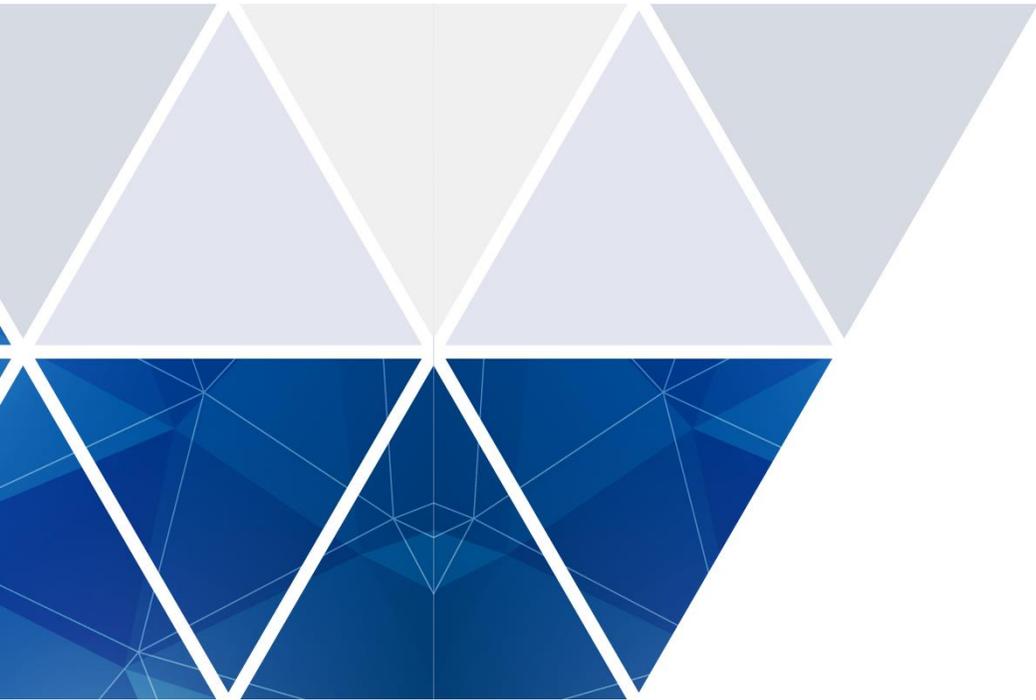
a-1+

いずれもA以上

(長期の信用力格付)



※2015年度



# 新中期経営計画 「VG2.0」

## VG2.0を策定した背景

社会的課題の深刻化と急速な技術革新はオムロンにとって大きなチャンス

## 深刻化する社会的課題

労働力の不足

モノづくりの変化への対応



高齢化の加速

医療費の高騰



事故・渋滞の多発

都市環境の悪化



温暖化の加速



## 急速な技術革新

AI



IoT



ロボティクス



センシング & コントロール + Think

## VG2.0 目指す姿・全社方針

### VG2.0で目指す姿

**質量兼備の地球価値創造企業**

**売上高 1兆円**

**営業利益 1,000億円**

### 全社方針

**技術の進化を起点に、イノベーションを創造し、  
自走的成長を実現**

## VG2.0 基本戦略

### VG2.0基本戦略

1. 注カドメインを再設定し事業を最強化
2. ビジネスモデルの進化
3. コア技術の強化



パートナーとの協創

## 注カドメイン

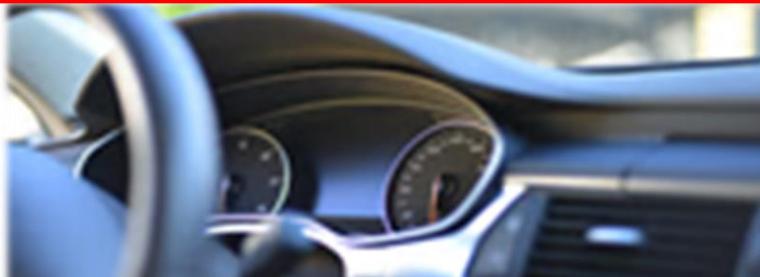
4つの注カドメインを設定し、全社一丸でソーシャルニーズを創造する。  
特に、FA、ヘルスケアに注力する。

**FA**

モノづくりでイノベーションを起こす

**ヘルスケア**

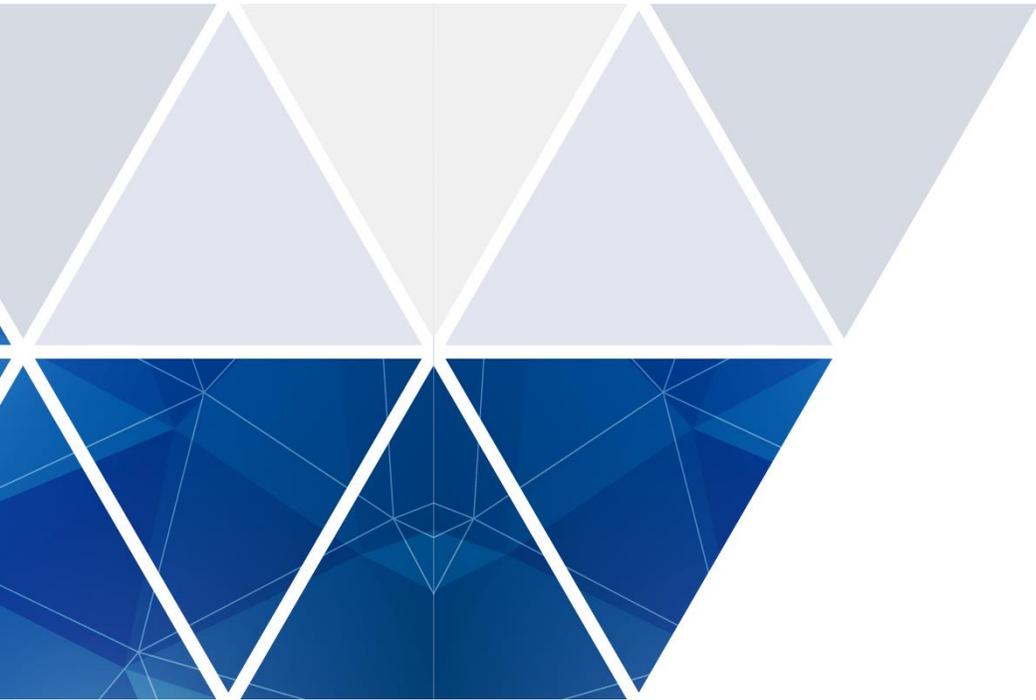
世界中の人々の健康で健やかな生活へ貢献

**モビリティ**

世界を安全、安心、快適、クリーンにする

**エネルギーマネジメント**

再生可能エネルギーで持続可能な社会作り



# 株主還元



## 利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

### 将来の成長に向けた投資

FA、ヘルスケアを中心に、成長投資(M&A)、研究開発費、設備投資に振り向ける

### 配当

年間配当は配当性向30%程度、DOE3%程度を目安として決定する

### 自己株式取得

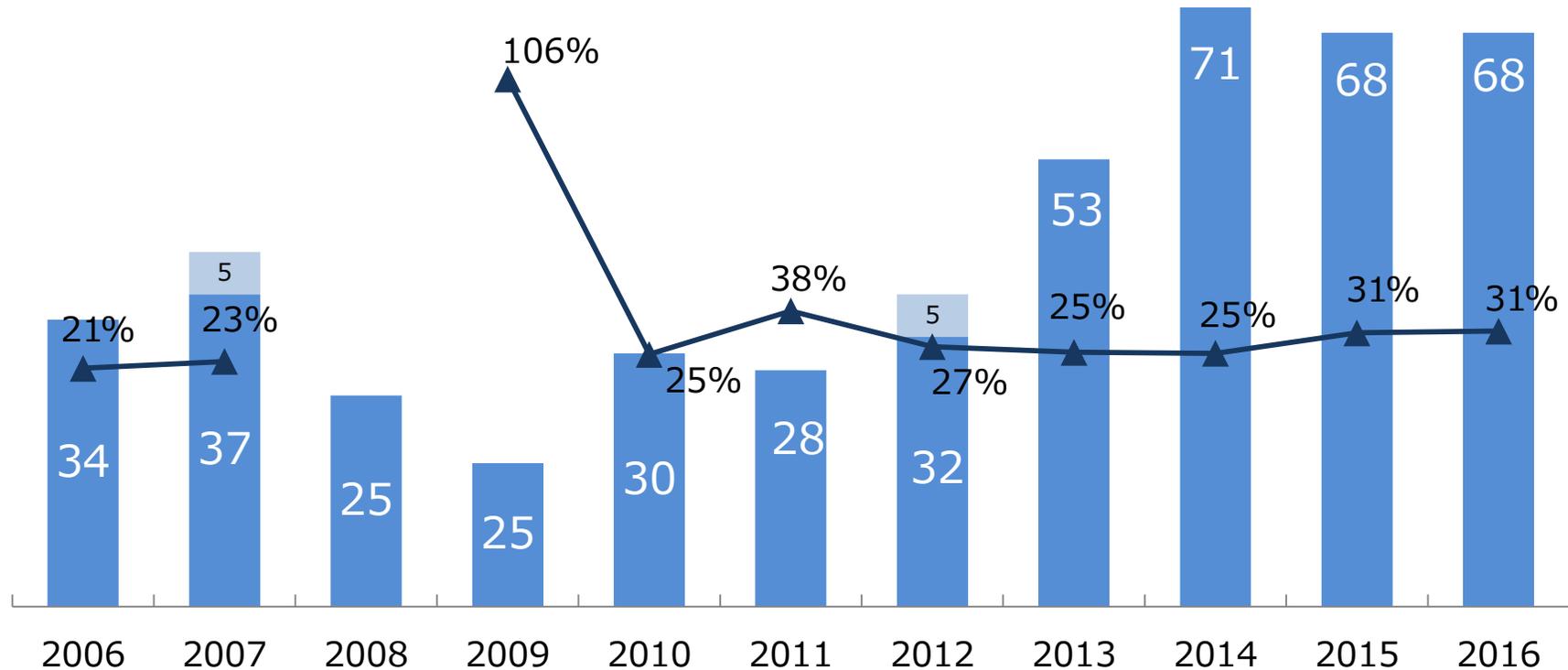
長期にわたり留保された余剰資金は、機動的に自己株式の取得を実施

※DOE：株主資本配当率

## 配当推移

2015年度より配当性向を25%から30%へ引き上げた

■ 普通配当 ■ 記念配当 ▲ 配当性向



※2008年度は当期純利益がマイナスのため、配当性向を非表示

## 直近の株価と過去10年間の株価推移

直近の株価： 4,665円（2017年4月28日終値）

OMRON Corporation



(C) 2017 Yahoo Japan Corporation.

<https://stocks.finance.yahoo.co.jp>

\* 出所：Yahoo!ファイナンス

## 株主優待

## 毎年3月末現在の株主名簿記載の株主様に「株主優待」をご提供

## 《① 自社ヘルスケア商品を贈呈》

100株以上：2,000円相当

300株以上：6,000円相当

低周波治療器

電子血圧計

クッションマッサージャ



※複数の商品から選択できます

## 《② 社会福祉法人 太陽の家への寄付》

100株以上：2,000円相当

300株以上：6,000円相当



(太陽の家との共同出資による福祉工場)

- ・ 株主様は上記①または②のいずれかを選択
- ・ 300株以上保有の株主様は①と②の組み合わせも可能

当社のホームページを是非ご覧ください！  
当社をご理解頂くための様々なIR情報を掲載しております。

オムロン IR

検索



＜IR情報の例＞

決算説明会動画の配信



オムロンを知る  
3つのポイントの掲載



株主優待のご案内





＜IRに関するお問い合わせ＞

**オムロン株式会社**  
**グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部**

**経営IR部**

電話 : 03-6718-3421

E-mail : [omron\\_ir@omron.co.jp](mailto:omron_ir@omron.co.jp)

HPアドレス : <http://www.omron.co.jp/ir/>

＜免責事項＞

本資料で記述している将来の業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績が記述している予想とは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。